

(3) 複数通学区のブロック化による学校選択制

(ブロック選択制)

導入年度：平成13年度 対象校：小学校17校、中学校8校

東京都日野市

1 地域の概要

都心から西に3.5km、東京都のほぼ中心部に位置し、面積は27.53km²。多摩川と浅川の清流に恵まれ、湧水を含む台地と緑豊かな丘陵をもつ。

日野市は昔から交通の要衝であったが、それはしっかりと今に繋がっている。甲州街道・川崎街道の二つの街道とJR中央線・京王線の二つの鉄道が走り、多摩モノレールも通っており、交通至便なまちとなっている。人口5万人で市制を施行したのは昭和38年で、現在の人口は17万人を超え、まだ増え続けており、平成15年には、40周年の節目を迎えた。

2 制度の概要

(1) 実施の経緯

学校選択制度が導入されるまでは、子どもが通う学校は、行政が地形や字界、交通事情を勘案して通学区域を定め、就学すべき学校を指定していた。しかしながら、保護者や子どもの求める価値観も多様化し、時代の流れの中で、保護者や子どもに不満の残る事例も見られるようになった。平成10年度には、学識経験者、市議会議員、教職員、学校の代表者、一般市民、保護者の方など、幅広い分野の委員で構成された「日野市立学校適正規模・適正配置等検討委員会」から、通学区域制度の弾力化に係る趣旨の提言を受けているところである。

こうしたことから、教育委員会では日野市独自の制度として、現行制度を大きく変更することなく、通学区域制度の弾力的運用に何らかの工夫を凝らした措置が必要と考えた。

(2) 目的

学校選択制は、保護者や子どもが自ら主体的に入学したい学校を選ぶことができるという点で子どもの教育ニーズに対応する仕組みと考えられる。また、保護者が学校を選ぶことは、選ぶ側の責任感を高めるとともに、子どもに、より適した教育を受けさせたいという保護者の希望にも叶うものとなる。

一方、選ばれる側の学校にとっては、今まで培った各学校の実績の上に、さらに質の高い教育内容をめざし、学校が主体的に創意工夫を凝らし、特色を出していくなかで、魅力的な学校づくりへの意欲を喚起したり、学校の活性化につながっていくことになる。

結果的には、学校教育における保護者と学校の新たな信頼関係が芽生え、地域に根ざした開かれた学校づくり、特色ある学校づくりが推進され、子どもにとって一層個性・能力に応じた教育が期待される。

(3) 内容

学校選択制により選択肢を広げようとする一方において、地域と学校とのつながりにも配慮する必要があると、選択肢に地理的な制限を設ける必要があることから、選択の範囲をブロック内の学校に限るブロック制を取り入れている。

まず、小学校については、現在の17学区域を8つのブロックに、中学校について

は、現在の8学区を4つのブロックにそれぞれ区切るとした。その上で、小学校、中学校に就学予定の新一年生を対象として、保護者、児童生徒が、居住するブロックの中の学校から、自ら入学したい学校を選ぶことができることとした。そして、保護者の選んだ内容を教育委員会は十分尊重し、例年1月末に保護者に送る就学通知書に記載する就学校の指定にあたり、保護者の希望を生かしていくことにしたものである。

3 事務の流れ

就学指定までの事務の流れは以下の通り。

時 期	内 容
4月下旬	学校選択制度の概要と学校公開、説明会の予定表を入学予定者の各家庭へ郵送する。
5月～6月	各学校で学校公開、説明会を実施
8月中旬	入学予定者の各家庭へ希望調査票を発送
9月中旬まで	希望調査票の受付
10月	希望調査票の集計状況の発表 抽選の実施（今まで未実施）
11月	就学時健康診断(小学校新1年生)
11月下旬	希望調査票の変更等の締切
1月下旬	入学通知書発送

4 実績と傾向

学校選択の状況は以下のとおり。

[小学校]

年度	入学予定者	私立等への 入学者	通学区域外から の入学希望者	通学区域外から の入学者	通学区域外からの 入学希望者の割合
15	1,402人	32人	173人	173人	12.6%
16	1,487人	23人	234人	234人	16.0%
17	1,529人	42人	253人	253人	17.0%
18	1,580人	32人	263人	263人	17.0%
19	1,555人	34人	217人	217人	14.3%
20	1,542人	27人	234人	234人	15.4%
21	1,601人	26人	242人	242人	15.4%

[中学校]

年度	入学予定者	私立等への 入学者	通学区域外から の入学希望者	通学区域外から の入学者	通学区域外からの 入学希望者の割合
15	1,332人	192人	106人	106人	9.3%
16	1,348人	175人	129人	129人	11.0%
17	1,386人	193人	158人	158人	13.2%
18	1,389人	153人	188人	188人	15.2%
19	1,545人	185人	226人	226人	16.6%
20	1,418人	160人	214人	214人	17.0%
21	1,443人	177人	184人	184人	14.8%

5 評価

ブロック制については概ね理解されているが、全小中学校から選択を希望したいとの声もある。特に、中学校については、友人関係や部活動の状況を選択の理由とする傾向が高いが、学校の特色や魅力そのものを考慮した学校選択が進められるようなブロック制のあり方について今後も検討していく必要がある。

— 本事例の問い合わせ先 —

日野市教育委員会 学校課
TEL 042-585-111